

# 令和4年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況

市民病院事務局長 中野 剛

## ○ 令和4年度重要事業

<b>事業名</b>	<b>健全経営に向けた経営の強化</b>
<b>目 標</b>	地域の中核病院として、地域医療の確保と高度で質の高い医療を持続的に提供していくため、医師の確保、救急医療体制の充実、地域連携の強化により患者確保に取り組み、経営改善を図ることで健全な病院運営に努めます。
<b>年 度 末 達 成 状 況</b>	前年度に引き続き、積極的な救急搬送患者の受け入れや地域連携の強化に努めて患者確保に取り組みましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、患者数、収益ともに前年度と比較して減少しました。
<b>自 己 評 価</b>	引き続き、徹底した感染対策に取り組みながら、医療・介護施設等の連携を一層強化し、患者確保に努めることで経営改善を図り健全な病院運営に努めます。

<b>事業名</b>	<b>新興感染症への対応</b>
<b>目 標</b>	ICD（インфекションコントロールドクター）や感染管理認定看護師の配置や拡充を図るとともに、検査や患者受入体制を強化するなど感染対策に取り組み、新型コロナウイルス感染症を始めとした新興感染症拡大防止に努めます。
<b>年 度 末 達 成 状 況</b>	新たにICDを1名配置するとともに、感染管理認定看護師の配置拡充を図りました。 また、新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受けて入院患者に対応するとともに、感染対策合同研修会の実施や指導を行うなど、地域の基幹病院として感染症対策に取り組みました。
<b>自 己 評 価</b>	引き続き、地域医療機関への指導・助言を行うなど、市の感染対策における基幹病院としての務めを果たしてまいります。

<b>事業名</b>	<b>地域包括ケアの推進</b>
<b>目 標</b>	地域包括ケア病棟を活用し、医療機関や介護施設からの在宅療養患者等の積極的な受け入れや在宅復帰支援を行うことで、地域の基幹病院として医療・介護連携を推進するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境の構築に努めます。
<b>年 度 末 達 成 状 況</b>	医療機関からのみならず、福祉・介護施設からの転院や紹介患者、レスパイト入院等を積極的に受け入れ、地域包括ケア病棟を活用して在宅復帰に向けた医療提供体制の充実を図りました。
<b>自 己 評 価</b>	地域包括ケア病棟について、地域包括ケアシステムの基幹病院の役割を果たすべく、積極的にPRに努めるとともに受入れ体制の充実を図ってまいります。

事業名	専門外来の充実
目標	「鼠径ヘルニア日帰り手術センター」や「子どものこころの外来」などの専門外来の充実を図り、地域住民が必要としている幅広い医療の提供に努めます。
年度末達成状況	「鼠径ヘルニア日帰り手術センター」に加え、新たな専門外来として、令和4年5月から、富山県の拠点病院の一つとして「子どものこころの外来」を設置して、市内の発達障害の疑いのある小児などが速やかに受診、検査できる体制を整備しました。
自己評価	市民のニーズに応えるべく、特色ある医療を幅広く提供できるよう、医療提供体制の充実に努めます。